第185号

2017 ティータイム通信

12

発行／
建設許可（般-27）16806号
（財）住宅保証機構登録店
人にやさしい家づくり
株式会社 みのりホーム
松山市福音寺町42番地6
Tel 089-976-0047
[HP] みのりホーム 検索
[E-mail] minori@minori-group.com

一級建築士事務所 第3021号
日本増改築産業協会 正会員
株式会社 栗田工務店
松山市福音寺町40番地1
Tel 089-993-7555
[HP] 栗田工務店 検索
[E-mail] kurita39@lilac.ocn.ne.jp

～無添加住宅のルーツを訪ねて～ フランス旅行記

フランス南東部にある町コンクとアンドーラ公国。実は小さな工務店を経営していた秋田さんが二十数年前にこの町の石屋根・石積み・漆喰の住まいを見て感動したのをきっかけに無添加住宅は生まれました。私達みのりホームも平成9年の健康住宅宣言から自然素材の住宅に取り組むなか、無添加住宅素材に惚れ込み現在の家づくりに至っています。

11月上旬、無添加住宅のルーツに迫るべくそのコンクとアンドーラ公国へ視察に行ってきました。訪れた町の家のほとんどが石の屋根。その地域で採石される素材をそのまま屋根に使うことで建築工事自体が省エネになっていますし、何よりその町並みはとても美しいものでした。屋根、手すり、建具や格子の一つ一つが手造りで既製品に無い味わいがあり温かみを感じる佇まいになっています。

石積みの壁に木の柱や梁を埋め込んで建てている家。現しの梁や柱は風雨にさらされていますが、築200年以上の間に取り換えられた形跡がありません。昔の家は全て天然乾燥木材です。湿気をこもらせなければ木はとても長持ちする素材だと確信できました。

新築後数百年の家が今も生活に使われていて、手造りだからこそメンテナンスも自分たちの手で行うことができます。室内は現代の生活に合わせて外観と打って変わった今時のデザイン・断熱仕様にリノベーションされている家も見せてもらうことができ、固定概念に縛られない柔軟さも感じました。今後の家づくりに活かして参ります。（寺川信一）

石屋根　500年ぐらい？

みのり 知恵袋通信

こちらのコーナーでは毎月、生活に役立つちょっとした小ネタをご紹介していきます

肉を上手に冷凍保存！

お肉をまとめ買いした時など、忙しいからと、とりあえずそのまま冷凍庫に放り込んでいませんか？ ちょっとひと手間かけてから冷凍すると、冷凍した肉をおいしく食べることができます。今回は、お肉の冷凍のコツをご紹介します。

解凍のコツ

解凍する時は、冷蔵庫の中で自然解凍するのが最適。

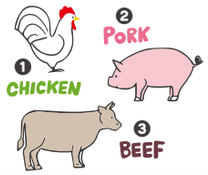
一定の温度でゆっくり解凍されるので、肉汁の流出を抑え品質を保ったまま解凍できます。

●小分けにして急速冷凍

肉が新鮮なうちに、使う量ごとに分けて密閉し、急速冷凍しましょう。金属トレーに乗せ、冷凍温度を下げると急速冷凍可能。

●種類別の賞味期限に注意

種類別では、鶏肉、豚肉、牛肉の順で、形状では、ひき肉、薄切り肉、厚切り肉の順で、賞味期限は短くなるので注意して。



●下ごしらえしてから冷凍を

あらかじめ下味を付けたり、加熱調理してから冷凍すると、保存期間を延ばすことができます。解凍後の調理も楽になりますね。

住宅ローンセミナー

12/3(日) 予約制 13:00～

参加費無料

知らないと数百万円損をする!?
最新 住宅ローンセミナー開催決定!!

福音寺町 無添加住宅 モデルハウスにて

このセミナーを聞けば・・・

■知らないと損する! 住宅ローンのカラクリがわかる
■リスクの少ない住宅ローンの組み方、期間がわかる
■得する住宅ローンの返済方法がわかる

これから家づくりを検討している方が、1年後、5年後に自ら下した判断に後悔をしないためにも「住宅を購入するタイミング」や「住宅ローンのカラクリ」など、最低限知ってほしい常識や知識をしっかりと身につけていただける内容となっております。

講師紹介

内海　史年さん

■AFP（日本FP協会認定）
※AFP：アフェリエイテッド・ファイナンシャル・プランナー
■相続診断士（相続診断協会）
■パートナーズプラス認定講師

セミナーのご予約はみのりホームまで! TEL 089-976-0047

申込多数の場合、おそれいりますが次回開催までお待ちいただくことがございます。

知っ得！ 不動産

「既存（中古）住宅購入のメリットと注意点」

既存（中古）住宅の購入を検討される場合のポイントについて紹介します。

既存（中古）住宅の購入に漠然とした不安を持つ方や、新築住宅をあきらめて既存（中古）住宅を選択される方もいる中で、既存（中古）住宅のメリットを見直し、むしろ積極的に購入するための材料としてご覧ください。

❶新築住宅に比べて安価に購入できる
❷"想像"ではなく、"実際の"日当たりや眺望などを確認する
❸リフォームによって改善できる

土地の価格は、利便性や周辺環境などで決まります。これは新築であっても、中古であっても、大きさや形状が同じであれば価格に違いはなく、建物価格が安価な既存（中古）住宅が新築に比べて購入しやすいケースが多い、ということになります。

「どうしても、このエリアに住みたい」でも「新築住宅には手が届かない」という場合には、有望かつ現実的な選択肢になります。立地も、ネット写真や広告だけで判断するのではなく現地で確認することが大切です。現地に行くとイメージが違ったという声も多いです。

リフォームする場合は間取りが家族構成に合うかどうかも重要です。構造にもよりますが間取りを変更し小規模なリフォームでも新築を購入するよりは安価に購入できる場合があります。

他にも中古住宅でも税金の優遇措置を受けることが可能であり、メリットも多くある事を知っておくと今後の中古住宅選びに役立つことになります。

やわらぎ便り

―『ＩＯＴ活用雇用促進企業 』に選ばれる!!―

有限会社やわらぎ
社長 寺川 勲雄

総務省の全国初となる『 官民連携とＩＯＴ活用による、地域雇用創出同時促進事業 』オープニングモデル企業として、やわらぎ が選ばれました！

これは、インターネットを活用して、潜在労働力を発掘し、企業とマッチングさせるという事業です。

愛媛県・伊予銀行・野村総合研究所などが推進体制をつくり、東京の “ＨＲソリューションズ ” が管理・統括を行います。

10月5日、川内事業所で3時間に及ぶ取材を受け、10月25日からインターネットにアップされました。アドレスはhttps://ano-kono.ehime.jp です。是非ご覧ください。

10月25日ＡＭ8:00からオープンされ、当日は中村知事、伊予銀行頭取の記者会見があり、ＴＶ・ラジオ・新聞で大々的に報道されました。※更に11月26日にも南海放送TVで県政PRとしても放送されました。

ホームページ　http://www.yawaragi-ehime.com/

今月の 栗田工務店 ビフォー・アフター Before→After

安心・安全・快適リフォーム!

施工例 松山市Ｍ様邸

改装工事 完成!!

● キッチン

● 洗面所

● 和　室

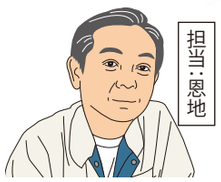
● 浴　室

Ｍ様邸は以前、増築されていたので、コンクリートブロック造と木造の異種構造になっていました。初めてお伺いした折、冬の寒さ対策と「将来介護が楽なように！」という目的でリフォームを望まれていました。

異種構造の増築で、不揃いの段差が各所に有り、寒さ対策も全く出来ていませんでした。

今回、主な生活圏である北側半分（DK・和室4.5帖・6帖・トイレ・浴室・洗面所）をバリアフリー化し、床・天井・壁には断熱材を施す事で、問題を解決できたと思っています。

これから寒い季節になりますが、暖かく過ごしていただければ嬉しく思います。



●お問合せは
株式会社 栗田工務店
0120-70-1516

現場からのお便り

～こだわりの天然乾燥材～

松山市福音寺町にて、上棟を執り行いました。

柱、梁、筋かいなどの桧、杉はすべて天然乾燥させた構造材を使用しています。天然乾燥材は人工乾燥材と比較すると油分を多く残すので粘りがあり、防虫効果も高くなります

桧の土台には防虫効果のある柿渋にティンボア（ホウ酸）を溶かした液体を塗布しています。コンクリートの基礎と土台の間には御影石のパッキン材をはさんでいます。 完成の来春まで安全第一で工事をすすめていきます。

～外壁　仕上げ中～

北久米にて建築中の現場にて、外装の仕上げ塗り中です。天気が良いので、真っ白な外壁が輝いて見えますね。

この塗り壁はもちろん無添加漆喰です。

左官職人の腕の見せ所です！

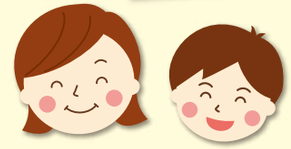
～感謝祭のご報告～

今年も感謝祭を無事終えることができました。当日は残念ながら台風の影響で足元の悪い中、たくさんの方にお越し頂き誠にありがとうございました。初日の土曜日はなんとか持ちこたえましたが、2日目の日曜日は中止せざるを得ませんでした。2日目にお越しいただいたお客様、楽しみにされていたお客様へお詫びを申し上げます。日々皆様からたくさんのご愛顧を頂き、社員一同感謝申し上げます。

これからもかわらぬご支援、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

今回、皆様にご協力頂きましたチャリティー金３２，０２４円は社会福祉法人 愛媛慈恵会へ寄付いたしました。皆様誠にありがとうございました。

来年はこそは天気に恵まれますように‥‥。



おてんかニュース Letter

間違いだらけの日本の住宅!?

健康で安全な家を求めて！ ―「病気の原因は建物②」

前回お話ししたBSEもそうですが、わが国では規制の在り方や対象が少しおかしいのではないでしょうか？化学物質過敏症で自殺までしてしまう方もおられるのに、国は日本の工業を守るためと称して、化学接着剤の使用を絶対にやめさせようとはしません。工業や私企業の利益を優先して、国民の健康への対応を後回しにするのが日本の規制の特徴です。あのアスベストや少し前の血液製剤の問題が良い例です。国はアスベストや血液製剤が体に悪いことが分かっていながら何十年も放ったらかしにして薬害エイズや大きな健康被害をもたらしてしまいました。そして今度は、シックハウスが悪いと知りながら、化学接着剤を強く規制していません。私たちは、そんな“国”を信用していいのでしょうか？

ここで私が問題にしている接着剤は、プラスティックを有機溶剤というもので溶かしてドロドロにしたものです。それを使って木を貼ると有機溶剤が揮発して元のプラスティックになります。木の間に挟まれている有機溶剤が残ったままになっているので、その有機溶剤がゆっくり出てきて室内の空気を汚染することになるのです。その家に住んでいる人は、その空気を体内に取り込みながら暮らしているのです。本当に怖いことです。